

ひるがみ

第 75 号

平成30年12月7日

発行

障害者支援施設
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395-0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>



今年の秋の交流会は信州プロレスの皆さんに来ていただきました。

秋の家族交流会

十月十三日に秋の家族交流会が行われました。秋晴れの暖かい日で、大勢の家族のみなさんにご参加下さいま

した。今年のアトラクションは、「信州プロレス」の皆さんに来て頂きました。女性利用者さんはプロレスって

聞くところちょっと怖いイメージなので「大丈夫かな？」と心配していましたが、信州プロレスのモットーが「安全第一・台本重視・入場無料・雨天検討」と掲げていて、とても楽しいプロレスごっこを見せていただきました。職員の前田さんもレスラー役で大活躍でした。利用者さんやご家



今回も沢山の作品を展示することができました。



族のみなさんから「とても楽しかった」との感想を多く頂きました。昼食会は「みんな大好きカレーライス」でした。トップピングも好評でほぼ完売でした。とてもいい家族交流会でした。当日までの準備、片付け等ご協力ありがとうございました。

(Y・K)



利用者さん達が普段考えている事、思っていることを紹介しました。

第三十九回関東甲信越地区 身体障害者施設職員研修大会

九月二十七、二十八

日にわたり、松本市ホテルブエナビスタで表記大会を、関ブロ傘下施設長様の絶大なご理解とご協力を賜り、三百六十二名の皆様にご参加いただき盛大に開催することができました。

長野県の施設長様はじめスタッフとして本大会の運営に参画された職員の皆様に深く感

謝申し上げます。また、

ご講演いただいた菅谷市長様はじめ、ご臨席、ご後援いただいた関係諸機関の皆様にも厚く御礼申し上げます。

私事で恐縮ですが、十九年前、木下元園長の下で第二十回大会を同じ場所で行い、今回私が実行委員長として行うことができ、まことに感慨深い大会でありました。

(園長 福澤)



福澤園長が実行委員長として挨拶しました。



菅谷市長様に講演して頂きました。

全国身体障害者施設協議会 研究大会に参加して

七月三十一日、八月

一日と二日間に渡り第四十二回全国身体障害者施設協議会研究大会が大阪市で開催され、参加させて頂きました。

行政説明、基調報告の後特別講演が二つあり、「和」についてのお話しと、「身障協のでき

ること、なすべきこと」

をお聴きしました。福祉を取り巻く動向や身障協の基本的な考えをお聴きし、職種間の垣根を越え皆が一丸となつて同じ思いになることの大切さを改めて再認識させて頂きました。

実践発表は二つ参加

させて頂き、リハビリ

させて頂き、リハビリコーディネーター導入とスライディングボードの活用の発表をお聴きしました。どれも今後の利用者さんの支援の参考になるものであり、大変勉強になりました。今回の研究大会で学んだことを今後の支援に繋げ、利用者さんがより快適に、安心して過ごせる生活を提供していきたいと思

(Y・T)

介護員室だより

いつも穏やかなNさん。イライラしているところや、怒っている所を見た事があります。

ある日「Nさんがイライラしたり、怒ったりしているのを見た事がないけれど、どうし

てそんなに穏やかにいられるのかな？」と聞くと「そんなことないわよ。ふふふ。」とふんわりと穏やかに笑った顔が印象的でした。

心穏やかにいられない事もあったと思いますが、周りに見せることなく穏やかなふんわりとした雰囲気

のNさん。今日もNさんの笑顔が見られるかな？と思いつついます。日頃生活の中で、ついイライラしてしまう事もあり、Nさんのように心穏やかにいられるようNさんを見習いたいなど思う日々です。

(M・W)

夏祭り



楽しい夏祭りが今年もやってきました。今回の祭りは、小さい頃やったことがある人も多いだろう祭りの定番「射撃ゲーム」が目玉です。この日の為に弾が柔らかい素材で安全かつ本物さながらの撃ち応えのあるおもちゃの銃を用意しました。射撃の的にも工夫を凝らし、利用者の好きなキャラクター（演歌歌



本格的な射的を楽しみました。



射的の後にたこ焼きを食べました。

手・有名アイドル・アニメキャラなど）を的として二十体以上も用意しました。そして当日、会場は大盛り上がり。職員と一緒に協力して撃つ利用者、自分で弾補充から発射まで行う利用者、好きなキャラを当てて喜ぶ利用者、順番を今か今かと待つ利用者……。射撃を楽しむお声で会場は埋めつくされていきました。「銃に迫力があって面白い」「どれを狙おうか選ぶのが楽しい」といつもと違う非日常感を味わっていました。

職員も童心に返り一緒に楽しむ事ができました。その後はたこ焼きをお腹いっぱい食べて、スクリーンに映る花火の映像を見ながら夏を満喫する事ができました。この日は夏の終わりがちよっぴり切なくなるほど思い出が沢山増えました。

(N・Y)

秋の運動会開催

十月十七日に利用者様参加による秋の運動会を開催致しました。

当日は旭ヶ丘中学校の学生さん三名が体験実習に来ており、一緒に参加して頂きました。

競技は、じゃんけん大会に始まり、運試しゲーム・利用者様職員一体となった仮装リレ



定番のジャンケン大会から始まりました。

トを美味しく食べて頂きました。前記の結果より、今年の大みそかの紅白歌合戦は白組の勝利ではないかと思わせるような運動会となりました。利用者さんからも大変楽しかったとの話を頂き、有意義な時間を過ごして頂いたのではないかと嬉しく思いました。

(T・H)



最後まで白熱した展開でした。

カラオケショー

九月五日、稲葉勇さんによるカラオケショーが開催されました。衣装チェンジしながらたくさん歌を歌ってくださいました。中でも、「マジンガーゼット」と「タイガーマスク」、「銭形平次」の歌は、利用者さんも知っている歌で、一緒に口ずさんだり、リズムにのっ



様々な衣装で目でも耳でも楽しみました。



職員もバックコーラスとして参加しました。

たり、手拍子をしたりする姿がみられました。最後には、利用者さんの間を通り、握手をして下さいました。利用者さんも自ら手を出し、握手をしていました。利用者さん、職員共に、みんな楽しんでお事ができ、素敵な時間がありました。本当にありがとうございました。

(M・M)

次長就任挨拶

岡庭 保人

平成三十年十月より当園にお世話になっていくる岡庭保人です。三十五年間勤務した前職では、人にとって二番目に大事な「お金」を扱ってききましたが、本職は人生で最も大切な「いのち」に係わる仕事であるだけに、従来とは種類が異なる緊張の日々を送っています。まったくの新入生ではありませんが、直接入所者の皆さまと接する生活支援職員をはじめ、医務室、調理室、事務室それぞれの職員が、入所されている一人一人の人生と真摯に向き合いサポートしている姿勢をみて、改めて「社会福祉の意義」を見つめ直していま

す。

人生百年時代を迎え、今後ますます重要性が高まる職務に就けたことを幸せに思うとともに、毎日真剣勝負で自らと対峙する所存でおりますので、ご指導宜しくお願いいたします。

編集後記

すっかり寒くなり冬に差し掛かってきました。特に今年には体調を崩しやすい気候だと思えます。体調には充分注意してください。そんな中、療護園では退所される方、新たに入所される方と様々な変化があります。一年も残りわずか。がんばっていきたく思います。



現況報告

平成三十年

十二月一日現在

利用者 四十八名
職員 四十五名
(非常勤職員を含む)

二面会について

インフルエンザ・風邪の流行する時季となりました。

重度の障害をお持ちの利用者様が入所されていることから、感染防止のため、ご面会については場所を制限させて頂くか、風邪気味の方やインフルエンザに罹っているご家族がいらっしゃる方などはお断りさせて頂く場合がございます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

